

音は消える。断面だけが、空間に残る。
映像は消える。残像だけが、空間に残る。
本公演は、音と像を横断し、
Artspaceを時間が堆積する「聴覚／視覚の建築」へと変容させる。
その内部では、音と像は静かに沈黙する・・・

永久衝動

VOL.5

— 音響断面と残像 —

2026/4/11 (sat)

OPEN 16:30 START 17:00

スペインよりヴィオラ奏者のVictor Guaita Igual、
フランスより即興演奏家の村山政二郎を迎え
地元アーティストとともに即興を展開する刻

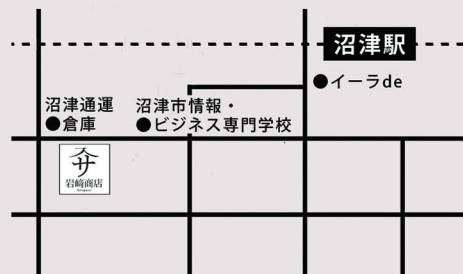
出演

1st : zutuuz

2st : 岡部稔(スライド写真) × 渡部真一(ギター、エレクトリック)

3st : Victor Guaita Igual(ヴィオラ) × 村山政二郎(パーカッション)

岡部 稔 : ONE DAY EXHIBITION 14:00 ~16:30(観覧のみは入場無料)



Artspace 入サ 岩崎商店
〒410-0805 静岡県 沼津市 白銀町2-14
E-MAIL. artspaceirisa@gmail.com
URL・<https://artspaceirisa.wixsite.com/my-site/about-us>

施設の情報については、
Instagramから配信中→



岩崎商店
Artspace

会場 | Artspace 入サ 岩崎商店

料金 | 1,500円

※公演中は正面入口を閉鎖します。裏口をご利用ください

※座席数とスペースに限りがあるため、立ち見または入場制限となる場合がございます。



Victor Guaita Igual：ヴィオラ奏者

ビクトル・グアイタ・イグアルは、現代音楽の演奏とその他の音響的探求に注力している。ブリュッセルでポール・ド・クレルクに師事しヴィオラで修士号を取得後、ハノーファーでオリバー・ヴィレに師事し弦楽四重奏で修士号を取得。アンサンブル・モデルン、イクタス、クランクフォルム・ウィーンなど様々なアンサンブルと頻繁に共演している。

<https://www.victorguaita.com/bio>



村山政二郎：パーカッショニスト

民族音楽学者、小泉文夫が担当していたラジオ番組を聴いて音楽に興味を持つ。

57年、長崎市出身、キャリアを82年の灰野敬二の米ツアーで開始した。

2000年以降、フランスを拠点としてヨーロッパ各国で活動。世界的サウンド・アーティスト、Eric La Casa や作曲家にして、アルトサクソ、パイプオルガン奏者であるフランスの怪人、Jean-Luc Guionnet と長年に渡る共同作業で知られる。

即興演奏を専門とする打楽器・ドラム奏者であるが、いわゆる自由即興演奏には批判的。共著に「語法と愚者」(2010)がある。東京外語大卒。仏検一級取得。

<https://urojiise.wixsite.com/seijiromurayama/home>



岡部稔：写真家・現代美術家

1962年 静岡県三島市生まれ（三島市在住）

2001年より静岡を中心に東京、神奈川、京都などで毎年個展を重ね36回を数える。

時間と環境の作用を受けたモノに意識とレンズを向け、ファウンド・オブジェの手法で作品を制作。自然と人工のセッションを捉えた画面には野趣と都会的な気配が共存する。

また写真に止まらずワイヤー作品、イラストなど境を超えた自由な表現でミュージシャンとのライブやCDジャケット、書籍の装丁など他のメディアとの活動も多い。



渡部真一：ギタリスト

即興演奏を行うギタリスト。04年、フランス滞在中にパリの即興音楽シーンに触れ、その影響を受け自身もソロ即興演奏を開始。

帰国後の07年より、静岡東部を中心に即興演奏をテーマとした企画（コンサート、ワークショップ、録音など）を多数オーガナイズ。

近年は、改造ギターやエフェクターを駆使したノイズパフォーマンスを展開。本公演では、多数のスピーカーによるサウンドインスタレーションを予定。



zutuuz

2025年zutuuz再浮上した。

深海に潜って居る間に知らずに変化したのだろうか？

無形を目指して進化したのだろうか？

だが今も我々は紛れもなくzutuuzで有る。

percussion：市川徳彦

vocal：松本浩明

変わらないのはメンバーだけで有る。

変わらないものと変わり続ける物、その物語。